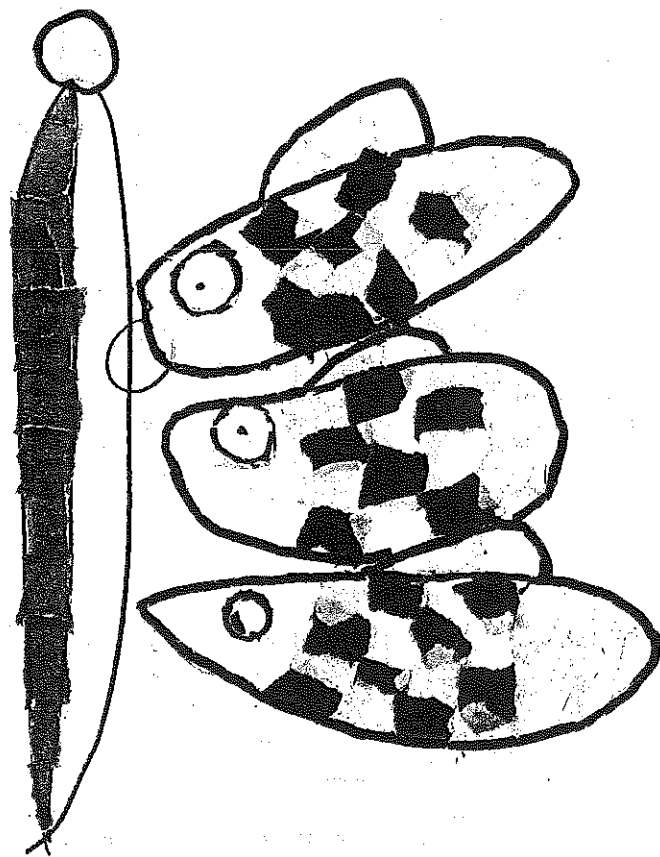


働こう障害者も 働けるんだオレたちも

2000年5月29日発行

こぶしだより

発行責任者：藤田勝春
編集責任者：住谷佳裕



作：齊藤宗一・加藤真博・阿久津智

土井小百合・田嶋かおり・佐藤イチ・阿久津真由美

今月の紙面

- ①特集 (1ページ)
*とも子さんと向かい会う
*仲間一人一人を大切に
- ②くらし (2ページ)
*グループホームの食生活
*シリーズ生活施設
- ③なかも (3ページ・4ページ)
*メーデーってなに?
*なかまの声
*石けんの違い?
④保護者・こよみ (5ページ)
*こぶし永島さん
⑤考える (6ページ)
*人間らしい生き方を求めて
- *社会福祉関連法案の改正の動き
その2

とも子さんと向かい会う

くごぶし重度重複の取り組みく

くごぶし作業所は、これまで障害の程度や種別にこだわらず、必然性の高い人たちを積極的に受け止めてきました。そうした中に知的障害と聴覚障害を持つ「重度重複障害」の人を受け入れ、十数年が経ちました。不十分な実践ではありますが、今までの取り組みの中で、大切にしてきたこと、心掛けてきた事等、とも子さんの姿を通してご紹介したいと思えます。

耳が聞こえない、コミュニケーションがとれないという事から集団の中で孤立してしまう姿が、映画「どんぐりの家」でも印象深く描かれていました。獲得している指文字や手話を使って一生懸命サインを発しているにも関わらず、受け止めるこちら側がそれを理解しきれず、本人にとってつらい悲しい想いを抱かせてしまう・・・そんな事も度々です。とも子さんもそんな想いを、幾度となく抱いていたのだろーと思えます。そうしたとも子さんの姿を目にし、次のような事を心掛けとも子さんと向かい会ってききました。

散歩や休み時間に風景や季節の移り変わり、

家での様子、仲間の様子などたくさん話し掛けをする・仲間の中に、とも子さんの障害や困難さを伝え理解を得る・とも子さんごどんな時でも一人ぼっちにならぬよう主に仲間との関わりを大切にすること等取り組んできました。そして何人かの仲間は「仕事」「一緒」「お休み」などの手話を覚え話し掛けてくれるようになりました。そして、とも子さんの中に「この人ならー」といわれる存在が少しづつ、職員にも仲間の中にも広がり、くごぶしが安心できる場となっていきました。とも子さんは今、すっかり、くごぶしの一員としてその存在を輝かせています。

(くごぶし 鈴木)

仲間一人一人を大切に

く仲間の発達保障が出来るようになるためにく

現在けやき作業所には、知的に障害があるだけでなく、身体障害を併せ持つ仲間、ことばがなくコミュニケーションがうまく取れない仲間、自閉的傾向のある仲間、パニックを起こしてしまう仲間など様々な障害のある仲間が通ってきています。

なかでもデイサービスセンターには終日作業をすることが難しい仲間が多く、創作活動

や音楽活動等作業以外の活動を取り入れ、その中で精神的、情緒的安定を図ったり、集中力や持続力を養ったり、労働への意識付けを図ったりしています。

一見遊びのように見える活動の中にも仲間の発達を保障し、労働意識を高めることを目的として試行錯誤しながらも様々な取り組みをしてきたつもりです。

しかし一概に「障害が重い」と言ってもその障害は千差万別で一人一人異なり、個々の処遇については私達はもつと学習を深めしつかり検討していかなければなりません。

そこで私達は今回は「自閉症」に的をしぼり学習会を行うことにしました。

第一回目は窪島務氏の「学校教育としての自閉症児教育の課題と展望」を資料としてすすめました。大変難しい資料で頭を悩ませた学習会ではありましたが、これからの私達の学習会の方向付けをしてくれた有意義な時間でもありました。

次回からはけやきの自閉的傾向のある仲間のレポートをもとに学習を深めていく予定です。興味のある方はけやきまでお問い合わせ下さい。たくさんの方からの意見をいただき仲間の発達を保障できるように処遇ができるよう努力していきたいと思えます。

(けやき 宮岡)

グループホームの食生活

ときわ荘編

ときわ荘の仲間は、スタートする前から健康に問題のある人でした。ほとんどが生活習慣病ですが、中には「痛風」を抱えた人もいます。体重も一二〇キロを超える人を筆頭に九〇キロ超える人が二名と、まるですもう部屋のような感じです。

健康であることは、意欲を持ち、心が前向きになります。「健全な精神は健全な肉体に宿る」といった言葉もありますが、体に病気を抱えることは気持ちも辛いものです。

さて、ときわ荘の食生活ですが、ほとんど野菜中心の低カロリーメニューです。「病気を治して焼肉パーティー」を合い言葉に、低カロリーレシピなる料理の本を三冊購入し、日々努力の毎日です。スタート時は、今までの四人それぞれの食習慣もあり、すぐに低カロリーとはいきませんでした。少しずつ、そして話をし本人たちに納得してもらいながら、揚げ物をやめ野菜や魚中心のメニューに変えました。しばらくすると食べたいものの要求が高まるのですが、「病気をしたらときわ荘で暮らせない」等々の話を根気よくしました。が、家に帰るとその反動で簡単には

行きませんでした。しかし、あきらめず家庭にも理解してもらい、今では体重も減り健診の結果も良好です。

よく「仲間は食べることが唯一の楽しみなのだから、うるさく言うのは可哀想」といった話を耳にします。障害が重い仲間ほどその傾向が強いように思います。この楽しみを拡張させ大げさかもしれないが、不健康に生命を縮めるより、健康な体にし様々な楽しみをたくさん経験できることが生きる大切なことではと思う今日この頃です。

(こぶし 金田)

シリーズ生活施設

其の貳

生活施設建設委員会には、いろいろな方に参加してもらっています。したがって委員全員というのはなかなか難しく、又、それを待っていたのでは会が進まないで委員会を四つの部会に分け当面の活動を行っていくことに決まりました。

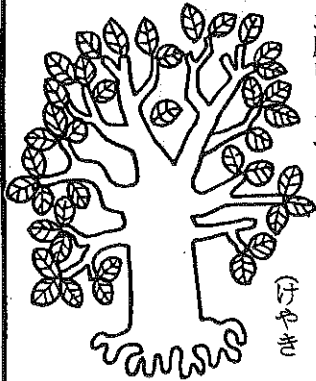
まず一つは、基本構想部会です。ここでは、生活施設の設定理念を明らかにし、その後の施設運営も展望して全体としての内容及びそれを実現するための方法を組み立て、成文化をはかります。

二つ目は、建物設計部会です。この部会では、文字通り生活施設の設計案を作成する部会です。特に仲間の生活において、個人のプライベートが尊重され、快適な生活が保障される居住空間の創造を検討します。

三つ目は、用地選定部会です。ここでは、仲間が地域社会の一員として、できる限り自然に市民生活を送るための条件として、どのような場所、土地を選定するか検討します。(宇都宮市の希望としては市南部に建設して欲しいとの事です。どこかいい場所があれば、ご紹介下さい。)

四つ目は、整備費・資金部会です。ここでは、土地の取得費用・建設工事費を積算し、必要自己資金を算出します。又、その自己資金の調達方法を検討し、財源調達目標、募金目標方針、イベントの開催など活動内容の具体化を提起します。どの部会とも課題は山程あります。ぜひ、皆様のお力添え、ご協力よろしく願います。

(げやき 成田)



メーデーってなに？

メーデーの取り組み

二〇〇年度のメーデーには、けやきの自治会は参加しませんでした。それでは、なぜ参加しないという結論が出たのか説明します。

四月上旬から新体制となった自治会役員会は、週に一・二度のペースで集まっては話し合いを続けてきました。主な討議は、部会・共作連全国大会・メーデーについてでした。

毎年のようにメーデーに参加していたのが今年には参加しないということになりました。一つは、「役員会でメーデーとは？」と仲間之間うと、ほとんどの仲間が答えられませんでした。そこでメーデーの意味が分からなくとも参加するのかわという意見が出たのです。二つ目は五月一日が月曜日であったため、「作業を休んでまで参加したほうがよいのか？」と疑問が出てきたからです。

各作業班で話合った結果、作業を休むのは簡単であるが、仲間がいない分結局職員の手を借りることになるし、今は一日の売り上げが大切（自主製品班）という意見が出ました。このように、仲間を見てみると遊び半分メーデーに参加するのではなく仲間一人一人が労働者として参加するんだという要求があっ

てこそ参加するべきメーデーであるため来年のメーデーが楽しみになりました。

(けやき 自治会)

なかまの声

共作連全国大会にむけて、去る5月8日に仲間全体で話し合いを持ちました。

テーマは、代表で参加する大橋さんに、ぜひ聞いて欲しいことや、勉強してきて欲しいことを話し合いました。また、こぶしで取り組んでいることも仲間と考えてはなそうと思っ

- 「ボーナスいくもらってますか」
- 「どんなしごとをしていますか」
- 「アルミ缶の仕事をしています」
- 「キャンプにいつてます。(ほかのところは)どこへいくのかな」
- 「旅行はどういうところへいつていますか」
- 「宿泊訓練やっていますか」
- 「(自治会で)役員会をやっています」
- 「なんでもしごとしたい」

「どんなしよくいんがいますか」

「グループホーム(についできいてきてください)」

「バスガイドさんになりたい」

「リサイクル班がすき」

「自販機のことやっていますか」

「一人で旅行へいきたい」

「親孝行している」

「自主製品(についで)おしえてください」

「なかまは何人いますか」

「お昼ご飯、なにたべてるの」

「送迎してますか」

「ボランティアさんきてるの」

と、たくさん出てきました。

(こぶし)

ぼくはせっけんはんでせっけんきるしごとを

しています。

きるしごとはたいへんです。

サングラスがほしいのでしごとをがんばりたいです。

(けやき 道明宏次)



奈々夫夫
水夫
お夫夫夫
お夫夫夫夫
お夫夫夫夫夫
お夫夫夫夫夫夫

関本正子



渡邊有紀

石けんの違い？

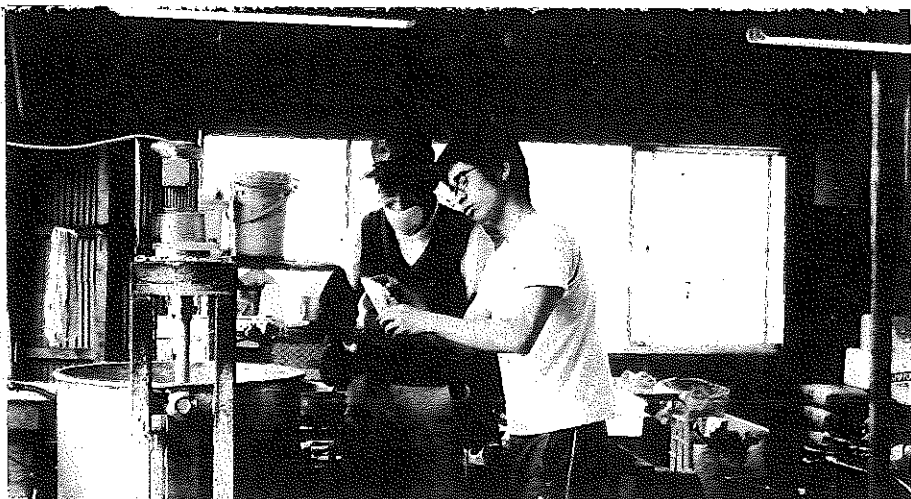
皆さんは、石けんと合成洗剤の違いってわかりますか？大半の方は違うことはわかっていても「なにが違うのか」なんて知らないのではないのでしょうか……。

私も最近までそんなことは特に考えたり気にもとめず、洗濯をしたり体を洗ったりしていました。知らず知らずのうちにスーパード特価品を買ったり、テレビ等で宣伝している物を使用したり、新聞屋からもらう合成洗剤を使用していました。そんな習慣（生活）がごく当たり前で何も気にする必要がない毎日を過ごしていました。

そんな生活が変化したのは、石けん班担当で石けんに関わっているというきつかけもありませんが、石けんと合成洗剤の違いを理解し、今までの習慣に疑問を抱き、当たり前のことが「当たり前じゃなかった！」と気付いた時です。

これからは、私が感じた事を皆さんに伝え、そして少しでも多くの方にふふ石けんをご利用して頂きたいと思っています。まだまだ改良をしない点がない点が山ほどありますので、皆さんと共に「ふふ石けん」の質

を高め、地域に広げていきたいと考えています。
(こぶし 関)



おむすび

障害者を家族の一員にもった家庭・・・。

思いもよらぬ人生の一步を踏み出した昭和四十七年春三ヶ月の夕方、風邪の熱性けいれんと云われ、一年後上京し、検査を受け、その病名の宣告に目前が真暗に、帰りの電車内で底知れぬ不安にかられました。

闘病が始まり、県内は元より静岡までも病院を奔走し、富士山の下を東名で通院、一つ一つの思い出が、鮮明に浮かんできます。今もって治療に望みをかけて、薬の弊害を少しでも軽くしてやりたいと願っていますがままになりません。

野沢養護に入学し、親付通学九年間、四季折々の日光街道を通い、同士の出会い、励ましに支えられ、思えば皆懐かしい思い出となって居ります。幼い頃から室内遊びが好きで、未だに目の届く所に居てくれたらと、社会性の無い子に育ってしまった様に思えます。

中学卒業後、重度心身障害児施設に入所。病院付きなら安心と手放したものの、一年八ヶ月で退所し、在宅中にこぶしにお世話になったのが平成三年、車で四キロと云う環境の中、早九年経ちました。今では中堅所の在籍となつ

てこの春で二十八歳となり今だに病弱、家とこぶしの往復だけで、そんな変化のない生活の中、唯一たまに朝の散歩と仲間とバスでの戸外の行事に、嬉しそうに笑顔が見られるので、家ではなかなか見ることが出来ません。日中面倒を見て下さる職員の方々に感謝し、将来に向け、子離れを考える心構えをしなればと、心は揺れ動くこの頃です。

(永島 伸子)

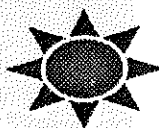


けやき

- 3 (土) ケース検討会議
- 10~11 (土・日) 共作連全国大会 (和歌山)
- 17 (土) 職員会議 (午前)
- 24 (土) 郡スポーツ大会 (休所)
- 25 (日) 日曜作業所

こぶし

- 3 (土) 職員会議 (午前)
- 理事会 (午後)
- 10~11 (土・日) 共作連全国大会 (和歌山)
- 17 (土) 指導会議
- 18 (日) 日曜作業所
- 19 (月) 18日の振休



こよみ
6月